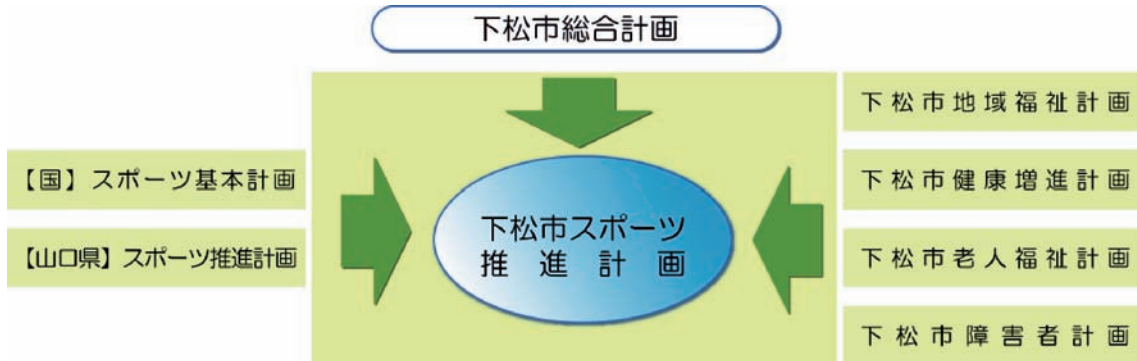




2. 計画の位置づけ

本計画は下松市総合計画の下位計画とし、下松市の各計画及び、国のスポーツ基本計画、山口県のスポーツ推進計画と整合性を取って策定しています。



3. 計画の期間

計画期間は10年間程度を見通した、5年間の計画（平成26年4月～平成31年3月）とします。

年度	一 計 画 期 間									
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
下松市スポーツ推進計画					★					
次 期 計 画										★

★は、中間見直しの実施時期とします。





第2章 下松市スポーツ推進計画の体系

1. 基本理念

市民が生涯にわたってスポーツに関わり、心身ともに健康な生活を送れるよう、また、スポーツを通じて、市民が地域と一体感を持って心豊かに生活できるまちづくりを目指し、次の基本理念を設定します。

「生涯スポーツ活動による心豊かな生活の実現をめざして」

2. 基本方針

(1) 「する」スポーツの推進

年齢、性別、障害の有無に関わらず、スポーツができる環境づくりを行います。

(2) 「観る」スポーツの推進

スポーツを観て、感動することで、競技力の向上や地域の一体感を創ります。

(3) 「支える」スポーツの推進

スポーツ活動をみんなで支えることで、心豊かなまちづくりを行います。

3. 目標の設定

本計画の5年後の目標として次の5つの指標を設定し、評価を行います。

*市民のスポーツ実施率

*スポーツの実施を通じて、自身が健康だと認識している市民の割合

*運動系の習い事をしている高校生の割合の増加

*スポーツを観戦し感動する人の増加

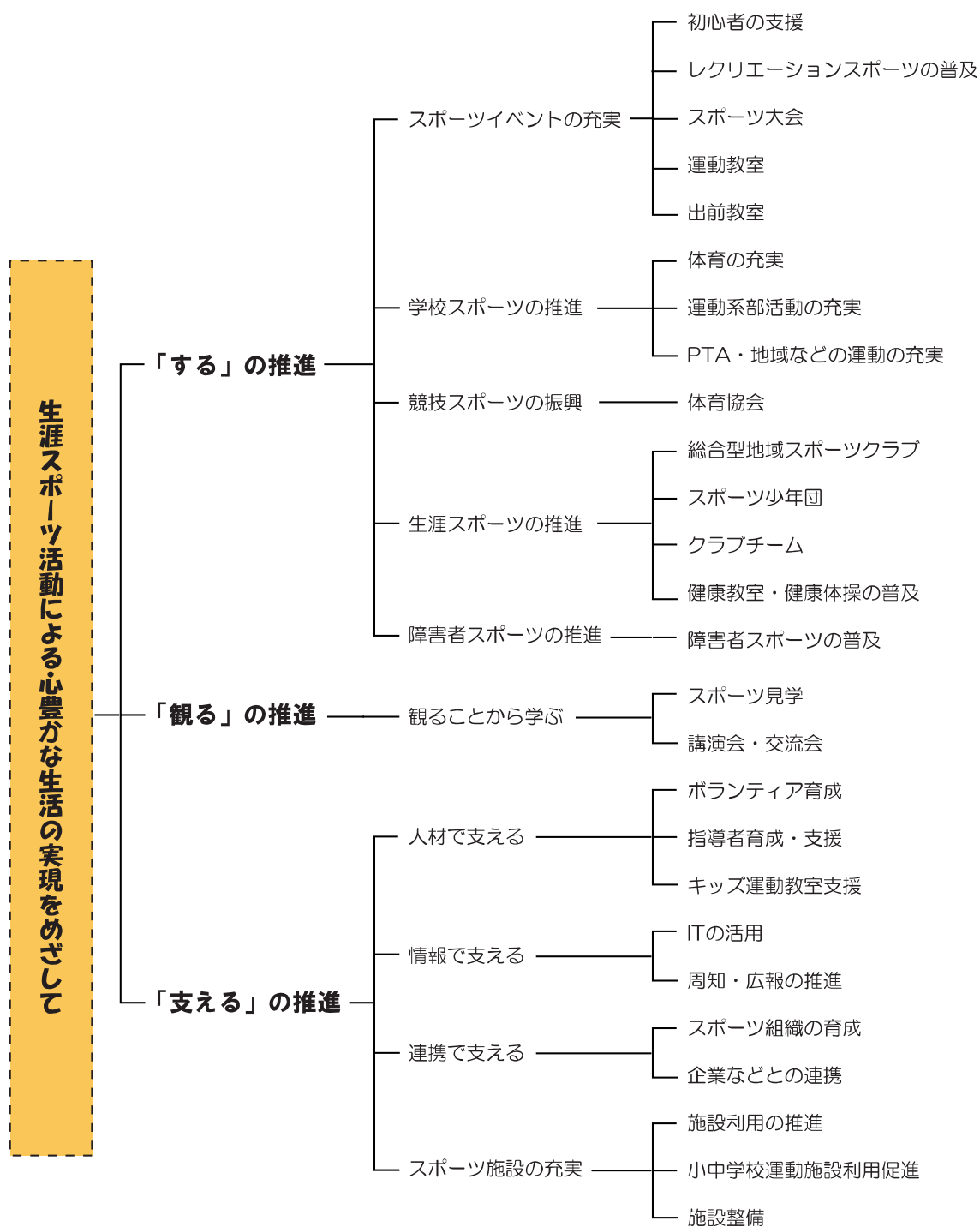
*スポーツボランティア登録制度の登録件数

—計画の目標指標—

指標項目		平成25年度	平成30年度	備考
スポーツ活動を行っており満足している人の割合 (市民のスポーツ実施率)		18.8%	25%	アンケート調査
自分を健康だと感じる人の割合		75.0%	83%	アンケート調査
運動系の習い事をしている高校生の割合	男子	74.7%	83%	各学校調査資料
	女子	36.8%	45%	
スポーツを観戦し感動したことがある人の割合		71.7%	80%	アンケート調査
スポーツボランティア登録制度の登録件数		新規	200件	アンケート調査



4. 計画の推進体系





第3章 下松市スポーツの現状

1. 市民のスポーツ活動に関する調査（アンケート）結果（抜粋）

アンケートの設計と回収状況

調査の設計と回収の状況は下記の通りです。

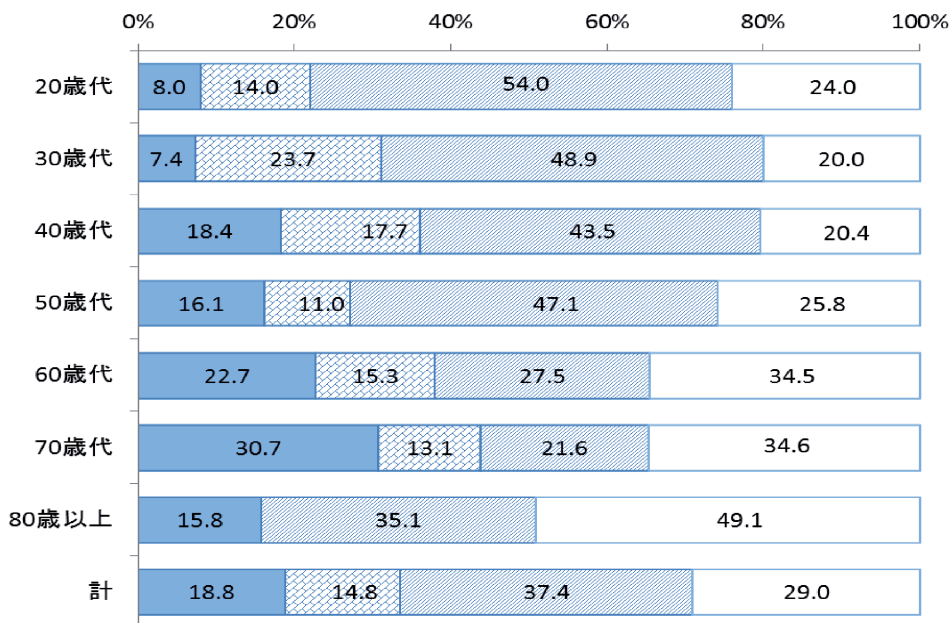
対象者	調査期間	配布人数	有効回答数	有効回答率
20歳以上の住民	2013年6月～7月	2,000人	1,042人	52.1%

※比率はすべて百分率で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しています。そのため百分率の合計が100%にならないことがあります。また、質問が複数回答を伴う場合、回答の合計は調査数を上回ることがあります。

① スポーツ活動の実施状況

「スポーツ活動をもっと行いたい」人や「行いたいと思うができない」人が若い世代ほど多くなっている

「スポーツ活動を十分に行っており、満足している」と回答した人の割合は、全体で18.8%となっていますが、年齢層別でみると、60～70歳代でその割合が高く、20～30歳代では低いことが分かります。「スポーツ活動をもっと行いたい」と回答した人は全体で14.8%ですが、30歳代では23.7%と高くなっています。「スポーツ活動を行いたいと思うができない」との回答は、20～50歳代で割合が高くなっています。



- スポーツ活動を十分に行っており、満足している
- ▨ スポーツ活動をもっと行いたい
- ▨ スポーツ活動を行いたいと思うができない
- 特にスポーツ活動に関心はない

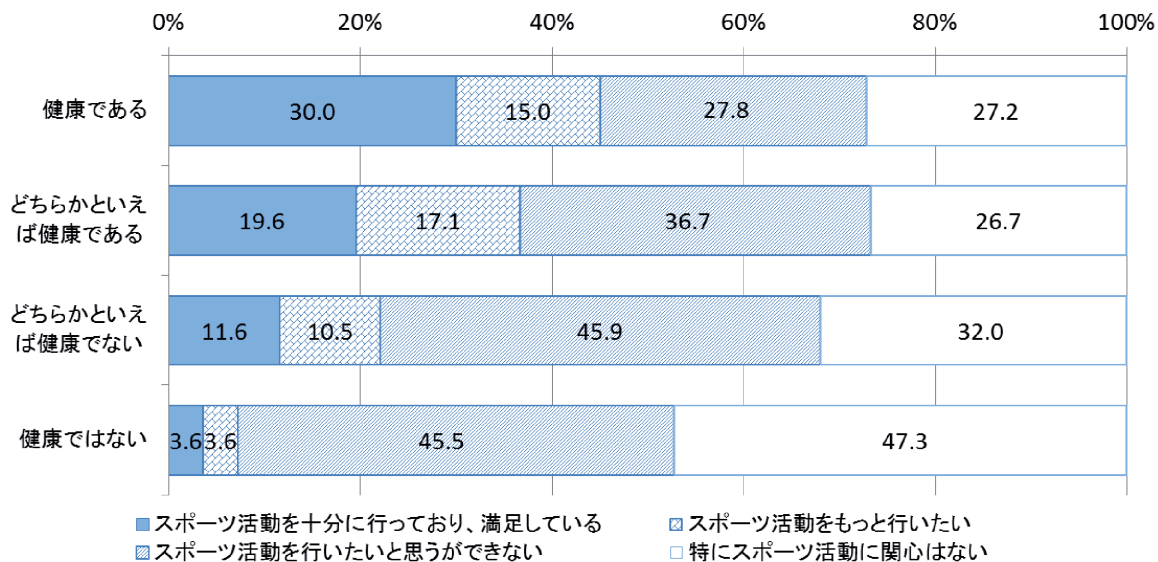




② スポーツと健康

スポーツをしている人は健康であると感じている

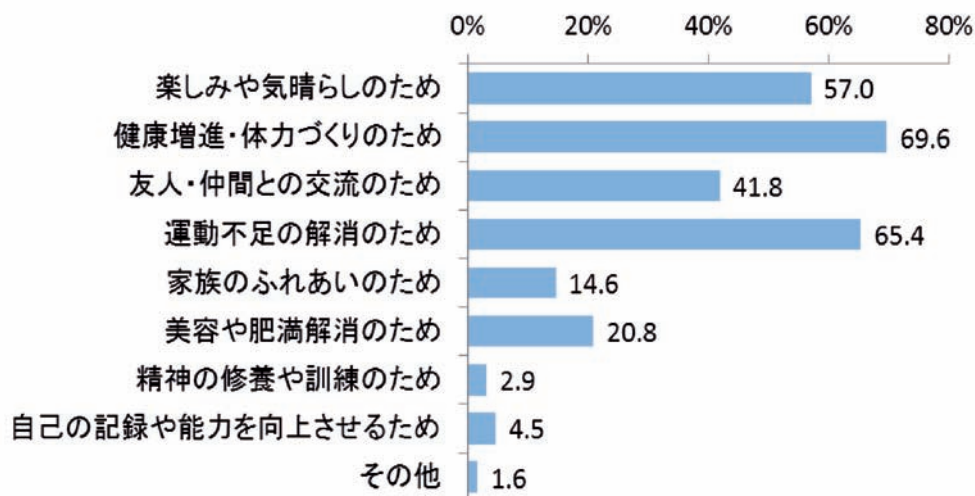
健康観の良い人ほど「スポーツ活動を十分に行っており、満足している」割合が高く、「特にスポーツ活動に関心はない」割合が低くなっており、スポーツの実践と健康に関係が深いことがわかります。



③ 楽しみとしてのスポーツ

多くの方がスポーツを楽しみとしている

スポーツを行いたい理由としては、「健康増進・体力づくりのため」や「運動不足解消ため」のほかに、「楽しみや気晴らしのため」や「友人・仲間との交流のため」を重要項目として選んだ人が多く、スポーツを通じて楽しさや生活の質の向上を求めている人も多いことがわかります。



※複数回答可

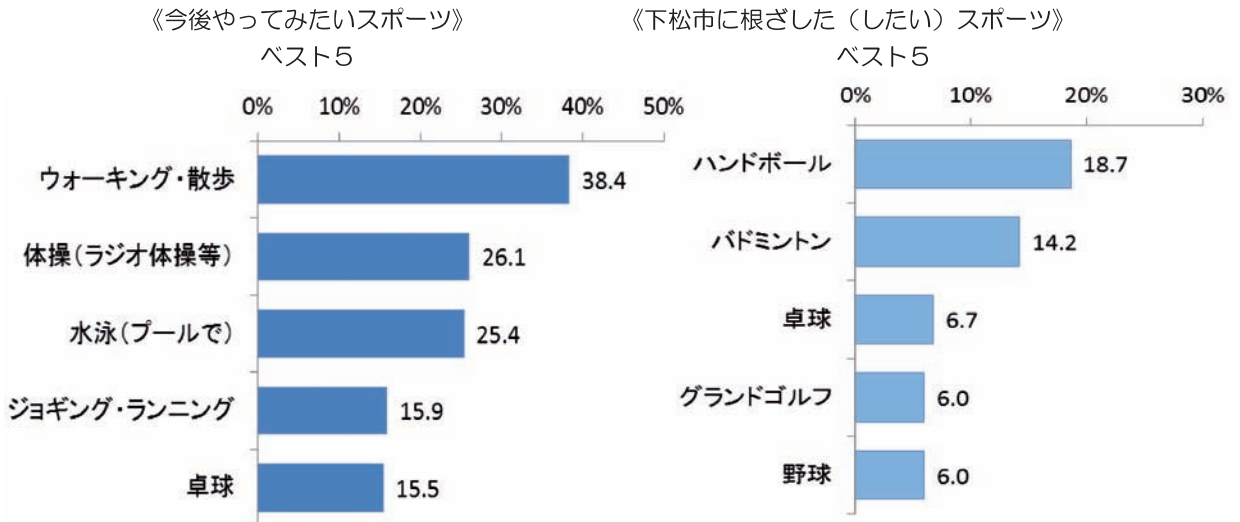




④ 望まれるスポーツ種目

今後やりたいスポーツと市に根ざした（したい）スポーツの違いがある

市民が手軽にでき、やってみたいと思うスポーツと、下松市の誇りとして応援したいスポーツには違いがあると推察できます。市としてはどちらも大切にしていきたいところです。

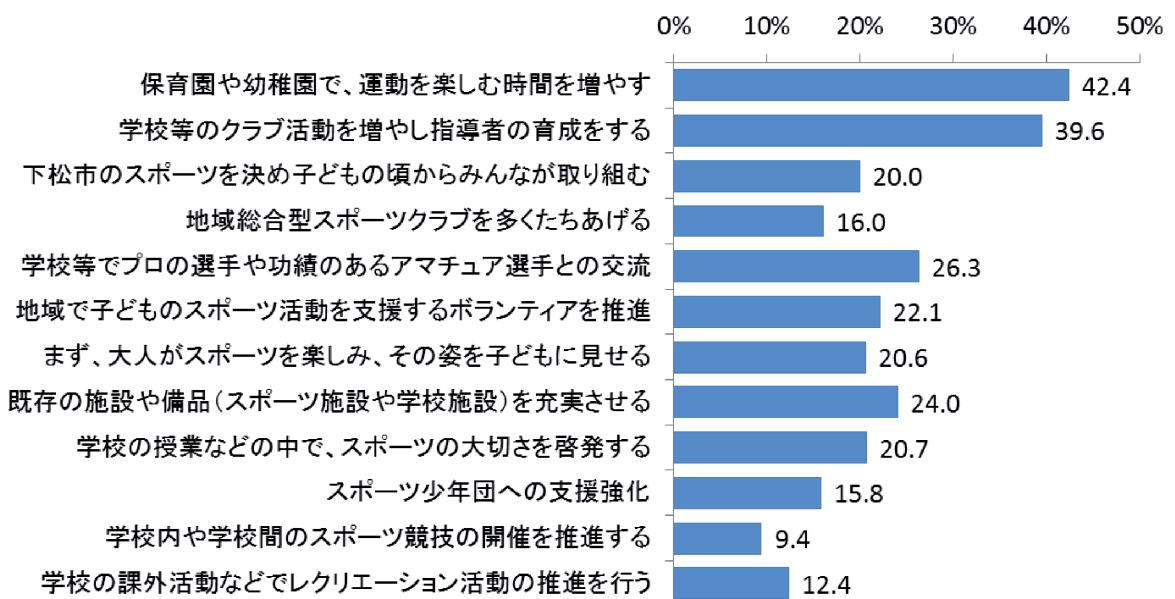


※複数回答可

⑤ 子どもたちのスポーツ振興

保育園・幼稚園・学校の現場での日々の活動の充実が求められている

「子どもたちがさらにスポーツを好きになったり、得意になったりするために何が必要か」との質問に対し、「保育園や幼稚園で、運動を楽しむ時間を増やす」や「学校等のクラブ活動を増やし指導者の育成をする」と回答した人の割合が高くなっており、保育園、幼稚園、学校現場での日々の活動が望まれています。



※複数回答可

